

公共施設再生計画(素案)
説明会・意見交換会における
会場での質問内容

- 自主財源だけで再生するのは難しい。国からの補助も活用すべき。
- 基本構想・計画で財源を明確に。都市マスタープランとの整合を。
- 更新は既存施設で足りないところを不足すればよい。
- 夜間人口だけでなく昼間人口の増加を目指すべき。
- 地場産業の育成を。
- 鉄筋コンクリートだけでなく、木造も検討すべき。国交省から300㎡以下は検討すべきとの方針がある。
- 勤労会館はどうなるのか？大久保公民館・市民会館と併せて考えるのか。
- 43%しか建替できないということは、57%床面積を減らすということか。
- 財源の確保は？
- 市に売る資産があるのか？
- 学校の統廃合をなぜ示さないのか？
- 施設を縦割りで考えていても話は進まない、資産管理室で統一して考えるべき。
- 横浜では保育の充実に個人宅で行う保育ママが増えている。施設に頼らないサービスの充実方法もあるのでは。
- 学校は統廃合してスクールバスで送迎を行うべき。
- 近隣市と比較しても公立幼稚園が多すぎる。民業圧迫だ。
- この説明会の周知が遅い。
- 各施設の根拠法を教えてほしい。
- 地域経済の活性化から、地域の企業が請け負う割合を高めるべき。
- こどもに意見を聞くべき。
- 長寿命化を図るべき。

- 耐震補強はどういった根拠に基づいてやっているのか？学校はほぼスケルトンなので、耐震補強工事だけでは耐用年数は伸ばすことができない。
- 学校の統廃合を1～2期など早期に着手するべき。
- 複合化と統廃合の具体的な案を早く示すべき、今回の案ではよくわからない。
- 市長がリーダーシップをとって教育と市長部局の意思統一をするべき。
- 施設を建替えるとき、その施設は休業するのか？
- 未利用の試算を早く売却するべき。
- 耐用年数を50年と言わず、70年使用するべき。
- 保護者会で話してほしい。
- 学校を複合化する場合、セキュリティはいかに保つのか？
- 学校が施設の割合を多く占めているが、余裕教室があり、転用できるように設計しなければならない。
- 魅力あるまちづくりと施設を結び付けて考えなければならない。
- 説明会の周知期間が短い
- 大久保公民館は混雑で予約を取るのが大変なので、勤労会館を一般利用するべき。
- 市内には小さい図書館がなく、学習室もない。
- 公民館はほとんど場貸し。廃止して各地区の集会所を使えばよい。
- 小学校を複合化して公民館の機能を作してほしい。
- 小学校の図書館を地域住民が利用できるようにならないのか？
- 富士吉田青年の家はどうなるのか？
- 菊田公民館と津田沼小学校はなぜ複合化しなかったのか？
- 公民館は場所貸しではなく、公民館事業が大切。

- 更新に必要な868億円のうち、国からの補助金はどれくらいありそうか？
- 施設までのアクセスを併せて考えてほしい。
- トイレをきれいにしてほしい。
- 谷津地区は再開発が行われているが、増えた人口は谷津小学校に収まりきるのか。
- 浦安市と習志野市は、人口と世帯数はほぼ同等なのに議員の数は習志野のほうが多い。
- 市長のリーダーシップに期待する。
- 屋敷公民館は耐震補強工事をしたばかり。無駄な投資ではないのか？
- 大久保公民館は駅前のいいところにあるので、民間施設を入れて収入アップを考えるべき。
- 公民館は遠くなっても郵便局やスーパーに行く。生活導線を考えて施設配置してほしい。
- 市営住宅は建替えるのか？一部の人のための施設ではないのか？
- 学校だけを聖域化するのはおかしい。